

2026年度前期B(2月3日)入学試験問題 一数学・国語一

※注意事項

名古屋産業大学

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 携帯電話は必ず電源を切ってカバンの中に、保管すること。
3. 試験の内容に関する質問は受け付けない。
4. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁、乱丁または解答用紙の汚れなどがあった場合は、手を挙げて、試験監督に知らせること。(問題は4ページ～17ページ)
5. 解答用紙は、受験科目ごとに決まっています。受験科目のマークされている部分を確認し、自分の受験科目と間違いの無いようにすること。解答用紙には、受験年度㉠、氏名㉡、受験番号㉢を下の(例)のように記入しなさい。あわせて、受験番号各桁に該当する□を黒く塗りつぶしなさい。(マークする)

(例) 数学を受験する場合の記入例

名古屋産業大学 2026年度 解答用紙

受験科目	国 語	英 語	数 学
	—	—	■

受 験 日	①	②	③	④	⑤	⑥
	—	—	—	—	—	—

⑧ 受験者氏名 (尾 張 花 子)

受験番号記入欄	1	6	1	1	0	1	A
受験番号マーク欄	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	A B C D E F G H I J K L M N O P Q

6. 解答は各設問で指定された解答欄に記入すること。
7. 解答は解答用紙の選択肢番号に当たる ☐ を黒く塗りつぶすこと。(マークする ☐ の塗りつぶし方(マークの方法)は、下記の例を参照すること。

良 い 例	
悪 い 例	  

8. マークを消す場合には、消し残りが無いよう注意すること。

数 学

問題 4 ページ～6 ページ

設 問 数 15

1. 次の問 (1) ～ (10) の解答を、解答群 (ア) ～ (エ) から選べ。

- (1) 放物線 $y=x^2+2x-1$ を x 軸方向へ a 、 y 軸方向へ b 平行に移動すると放物線 $y=x^2-4x+4$ となる。 (a, b) の組を求めよ。解答番号は (1)。

(ア) $(-3, 2)$ (イ) $(-3, -2)$ (ウ) $(3, 2)$ (エ) $(3, -2)$

- (2) $\triangle ABC$ において、 $\angle A=120^\circ$ 、 $AB=8$ 、 $AC=7$ のとき、辺 BC の長さを求めよ。
解答番号は (2)。

(ア) 10 (イ) 11 (ウ) 12 (エ) 13

- (3) $4x^2-5x-3=0$ の 2 つの解を、 α 、 β とするとき、 $\sqrt{\alpha^2+\beta^2}$ の値を求めよ。
解答番号は (3)。

(ア) $\frac{7}{4}$ (イ) $\frac{5}{8}$ (ウ) $\frac{6}{5}$ (エ) $\frac{7}{3}$

- (4) $x^2-x \leq 12$ 、 $x^2 > -2x+8$ の 2 つの条件を満たす整数の x の値を求めよ。
解答番号は (4)。

(ア) 3 と 4 (イ) 2 と 3 (ウ) 3 (エ) 4

- (5) 連続した 3 つの奇数がある。その和が 1275 になるとき、3 つの整数のうち、一番小さい整数の各桁の和を求めよ。解答番号は (5)。

(ア) 9 (イ) 11 (ウ) 13 (エ) 15

- (6) あるサークルには、男性 6 人と女性 4 人が所属している。この中から掃除当番を 4 人選
びたい。男性から 2 人、女性から 2 人選ぶとすると、その選び方を求めよ。

解答番号は (6)。

(ア) 30 (イ) 60 (ウ) 90 (エ) 120

- (7) 大学生 200 人を対象に飲酒と喫煙に関するアンケートを取った。その結果、飲酒すると
答えた学生は 125 人、喫煙すると答えた学生は 65 人いた。また、飲酒も喫煙も両方し
ないと答えた学生は 45 人であった。このとき、飲酒も喫煙も両方すると答えた学生は
何人か求めよ。解答番号は (7)。

(ア) 25 (イ) 35 (ウ) 45 (エ) 55

- (8) A、B の命題が正しい（真）とき、次のうち確実にいえるのはどれか、(ア)～(エ)の中
から選べ。解答番号は (8)。

A：動物であるならば、命がある

B：人間であるならば、動物である

(ア) 人間であるならば、命がある (イ) 命があるならば、人間である
(ウ) 動物であるならば、人間である (エ) 人間でないならば、命がない

- (9) ある仕事を仕上げるのに、A さんは 12 日、B さんは 24 日かかる。また、A さん、B
さん、C さんの 3 人が一緒にこの仕事をするに 4 日かかる。この仕事を仕上げるのに、
C さん 1 人では何日かかるか求めよ。解答番号は (9)。

(ア) 5 (イ) 6 (ウ) 7 (エ) 8

(10) $x > 2$ は $x^2 > 2x$ であるための何条件であるか。解答番号は (10)。

(ア) 必要十分条件

(イ) 必要条件

(ウ) 十分条件

(エ) 必要条件でも十分条件でもない

2. $0 \leq x \leq 1$ において $f(x) = x^2 - 2ax + 3a^2$ のとき、下記の問に答えよ。ただし、 a は定数である。解答は裏面の回答欄に記入すること。

(1) $a \leq 0$ の場合、 $f(x)$ の最小値を求めよ。解答番号は (11)。

(2) $0 \leq a \leq 1$ の場合、 $f(x)$ の最小値を求めよ。解答番号は (12)。

(3) $a \geq 1$ の場合、 $f(x)$ の最小値を求めよ。解答番号は (13)。

3. $a = \frac{1}{3 - \sqrt{7}}$ の整数部分を p 、小数部分を q とする。下記の問に答えよ。解答は裏面の回答欄に記入すること。

(1) p 、 q の値を求めよ。解答番号は (14)。

(2) $p^2 + 2pq + 4q^2$ の値を求めよ。解答番号は (15)。

国 語

設 問 数 16

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

政治という活動はある集団（典型的には国家）の目的なり利益なりに向けて自己決定し、それを実行していくことをめぐる諸活動である。政治はあくまで集団全体のあり方に関わる決定とその実行をめぐる活動であり、政治的統合はこうした活動の方向づけを担うものである。政治的統合が如何なるものであるかを形式・内容に即して自覚的に追求したプラトンの規定によれば、ポリティケー（政治術）とは「ポリス全体にハイリョ^⑦」する包括的知識を意味する（『ポリティコス』）。ここでは物的資源や人的資源を駆使し、それらに方向づけを与えることに特徴が求められた。つまり、それは何か一定の行動を自ら行うことを予め念頭におくものではなく、あくまでも諸々の物的資源や人的資源を指導し、導く「王者の技術」としてイメージされていた。ここにはプラトン自身の政治術の内実についての独自の見解が流れ込んでいないわけではないが、政治的統合の端的な側面を示したものであることは疑問の余地がない。どんな政治家でも切羽詰まると最後には、「国家、国民のため」という殺し文句を口にするのは今も昔も変わりはない。

ところで政治的統合という言葉には、その具体的な内容をめぐってさまざまな見解があること、主体間で意見の対立があることが予め想定されている。実際、そうした見解の相違がなく、あるいはそれを問題として考える必要がないのであれば、統合といった言葉を事新しく使う必要はないであろう。注目すべきは、政治をめぐる古来の議論においては、こうした統合問題そのものを如何にして発生させないようにするか、逆に言えば、見解の相違が生じないようにすることに非常に大きなエネルギーが払われてきたことである。そして、そうした状態こそ理想の政治であると考えられてきた系譜がある。これは政治的統合という概念の意味を裏から理解するために、予め検討しておく必要がある。

A、東アジアにおいては、「無為^{むゐ}にして治まる者は其れ舜^{しゅん}なるか。夫れ何^そをか為^なさんや。己れを恭^{うやうや}しくして正しく南面^{なんめん}するのみ（何もしないでいてうまく治められてた人はまあ舜だろうね。一体、何をされたろうか。おん身をつつしまれてま南に向いておられただけだ）」（『論語』御霊公篇）というのは古来からの一つの理想であり、「無為にして治まる」ことは統合が自ずから成立している事態である。

B、『論語』にしてもこうした状態を実現するためには多くの努力と苦勞があったことを伝えており、自ずから実現したように見える状態も働きかけや作為なしに実現するものとは考えられていない。その限りにおいてこうした「太平の世」を実現するためには教化の担い手が必要であり、その担い手の教育こそジュキョウ^①の任務であった。

古代ギリシアにおける政治的自由の開花と意見の対立、それに伴うダイナミックな政治史は広く知られている。それは政治的統合の担い手を変えたのみならず、その手続きや政治的統合の基本理念をめぐる多くの対立を次々と生み出した。プラトンの「哲人王」とい

う構想は、そうした統合問題の政治化が果てしなく進行しつつある真^{ただ}只中において、一つの真理とそれを根拠にした包括的知識としての政治術（ポリティケー）によって統合問題に決着をつけることを明らかに意図したものであった。

真理と権力との一体化は当然のことながら、それに挑戦する知的・道徳的権威の徹底した排除を内包せざるを得ない。一言で言えば、人間は新しいポリスにふさわしいように「浄化」^④されなければならない、そこからホメロスに代表される伝統的な知的権威が排撃されるのみならず、一〇歳以上の者は「浄化」のための再教育に耐えられないことを根拠にポリスから放逐^①されなければならないといった議論が出てくる。これをプラトンは「画布の汚れを拭い去る」という言葉で表現している。「浄化」と教育の徹底によって政治的統合はいわば問題としての性格を失うことになる。

この「哲人王」構想は多くの政治論において遠い理想として、あるいは、現実離れたユートピアとして受け止められるに止まったが、しかし、この背後には真理と権力との一体化という重大なモデルが潜んでいる。実際、イデオロギー政治の時代にあつては、このモデルは圧倒的な存在感を持った。特に、マルクス主義の歴史を顧みれば、それは歴史的な現実の問題でもあり得た。レーニン、スターリン、毛沢東といった統治者は同時に哲学者とされ、真理をめぐる争いが権力をめぐる争いと常に連動する可能性を内包していた。ここでは真理をめぐる対立は政治的統合の担い手の間の対立につながり、時には「肅清」^②につながった。つまり、このモデルにおいては真理は一つであり、政治的統合における対立そのものがあつてはならない事態であり、従つてそれは然るべき形で理論的に「解決」されなければならないからである。

（『政治の精神』佐々木毅 岩波新書（二〇〇九）十三～十六頁）

問一 傍線部①ゝ②の漢字の読みをひらがなで答えよ。解答番号は(1)ゝ(2)。

問二 傍線部㊦ゝ㊧の読みの漢字を答えよ。解答番号は(3)ゝ(4)。

問三

A

 と

B

 に入る接続詞の組み合わせとして正しいものを選び。解答番号は(5)。

- (a) もっとも・したがって
- (b) それゆえに・それに対して
- (c) つまり・さらに
- (d) 例えば・しかし

問四 傍線部㉑「浄化」の意味に最も近いものを、次から一つ選べ。解答番号は(6)。

- (a) 不適合な要素を取り除いて、新たな理想に適合させること。
- (b) 精神的・道徳的に高めることによって、秩序を再構築すること。
- (c) 自然のままの人間を尊重し、ありのままに受け入れること。
- (d) 内面的な葛藤を昇華させて、共同体の一致を目指すこと。

問五

次のうち、筆者が述べている東アジアと古代ギリシアの政治的統合観の違いに最も適切に言及しているものを、次から一つ選べ。解答番号は(7)。

- (a) 東アジアでは強制力による統合が、ギリシアでは自発的な統合が、それぞれ理想とされた。
- (b) 東アジアでは無為自然の統合が、ギリシアでは真理に基づき対立を解決し統合することが、それぞれ理想とされた。
- (c) 東アジアでは自由な言論が、ギリシアでは君主による支配が、それぞれ重視された。
- (d) 東アジアでは哲学者による支配が、ギリシアでは教化による支配が、それぞれ理想とされた。

問六

本文における論の展開として最も適切なものを、次から一つ選べ。解答番号は(8)。

- (a) 古代の事例をもとに政治的統合の定義を導き出し、それを現代に当てはめている。
- (b) 政治的統合に関するプラトンの規定を紹介した後、見解の対立の有無に着目し、二つの統合観を論じている。
- (c) 対立のない統合が不可能であることを前提に、具体例を排除しながら抽象的に論じている。
- (d) プラトンの政治思想を軸に、儒教や現代思想と比較し、普遍的な統治原理を示している。

問七

傍線部⑥「それ」が指しているものを、本文中から十文字で抜き出せ。解答番号は(9)。

問八

本文では、東アジアの理想の政治観やプラトンの政治術の構想が紹介されている。筆者は、こうした過去の思想を引き合いに出すことで、現代における政治的統合の問題にどのような視点を与えようとしているか。本文の内容に即して、百字以内で説明せよ。解答番号は(10)。

お留伊は、容姿端麗な十五歳の娘で、幼い頃から鼓の腕前に優れていた。次の正月には、金沢の城の御前で行われる鼓くらべに出場することが決まっていた。

ある日、稽古に励んでいたお留伊の庭先に、左手だけをふところに入れた身なりの貧しい旅絵師の老人が現れた。老人は、お留伊の鼓の音色に惹かれてやって来たのだという。

それから二人は言葉を交わすようになった。次に続くのは、鼓くらべ本番の場面である。

そして曲がはじまった。お留伊は自信を以て打った、鼓はその自信によく応えて呉れた。使い慣れた道具ではあったが、かつてそのときほど快く鳴り響いたことはなかった。……三ノ地へかかったとき、早くも充分の余裕をもったお留伊は、ちらと相手の顔を見やった。お宇多の顔は蒼白^{あおざ}め、その唇はひきつるように片方へ歪んでいた。それは、どうかして勝とうとする心をそのまま絵にしたような、烈しいシェウネンの相であった。

その時である、お留伊の脳裡^{のうり}にあの旅絵師の姿がうかびあがって来た、殊に、いつもふところから出したことのない左の腕が！

——あの人は観世市之丞^{かんせいいちのじょう}さまだった。

お留伊は愕然^{がくぜん}として、夢から醒めたように思った。

老人は、市之丞が鼓くらべに勝ったあとで自分の腕を折り、それも鼓を持つ方の腕を、自ら折って行衛^{ゆくえ}をくりましたと云ったではないか。……いつもふところへ隠している腕が、それだ。——市之丞さまだ、それに違いない。

そう思うあとから、眼のまえに老人の顔があざやかな幻となって描きだされた、それからあの温雅な声が、耳許ではっきり斯う囁く^{ささや}のを聞いた。……音楽はもっと美しいものでございます。お留伊は振返った。そして其処^{そこ}に、お宇多の懸命な顔をみつけた。眸^{ひとみ}のうわずった、すでに血の気を喪った唇を片方へひき歪めている顔を。

——音楽はもっと美しいものでございます、またと優劣を争うことなどおやめなさいまし、音楽は人の世で最も美しいものでございます。老人の声が再び耳によみがえって来た。……お留伊の右手がはたと止った。

お宇多の鼓だけが鳴り続けた。お留伊はその音色と、意外な出来事に驚いている客たちのドウヨウを聴きながら、鼓をおろしてじつと眼をつむった。老人の顔が笑いかけて呉れるように思え、今まで感じたことのない、新しいよろこびが胸へ溢れて来た。そして自分の体が眼に見えぬいましめを解かれて、柔かい青草の茂っている広い広い野原へでも解放されたような、軽い活々とした気持ちでいっぱいになった。

——早く帰って、あの方に鼓を打ってあげよう、この気持ちを話したら、きっとあの方はよろこんで下さるに違いないわ。お留伊はそのことだけしか考えなかった。

「どうしたのです」

舞台から下りて控えの座へ戻ると、師匠はすっかり取乱した様子で詰った。^④「……あんなに旨く行ったのに、なぜやめたのです」

「そんな馬鹿なことではない、いやそんな馬鹿なことは断じてありません、あなたはかつてないほどお上手に打った。わたくしは知っています、あなたは打ち違えたりはしなかった」

「わたくし打ち違えましたの」

お留伊は微笑しながら云った。「……ですからやめましたの、済みませんでした」

「……あなたは打ち違えなかった、そんな馬鹿なことではない」と。

仁右衛門は躍起となって同じことを何十回となく繰返した。

（『鼓くらべ』 山本周五郎 新潮文庫（一九七三）三五～五四頁）

問一 傍線部①ゝ②の漢字の読みをひらがなで答えよ。解答番号は(11)ゝ(12)。

問二 傍線部アゝイの読みの漢字を答えよ。解答番号は(13)ゝ(14)。

問三 傍線部③「夢から醒めたように思った」ときのお留伊の心情を最も適切に表した文章を、次から選びなさい。解答番号は(15)。

- (a) 師匠の教えを破ったことに対して罪の意識を感じた。
- (b) 相手の演奏に圧倒されて正気を失いかけた。
- (c) 演奏に没頭していた自分に気づき、驚いた。
- (d) 老人の正体に驚き、現実を引き戻された。

問四 傍線部④「それ」が指しているものを、次から一つ選べ。解答番号は(16)。

- (a) 市之亟が鼓くらべに勝った後、自ら折った鼓を持つ方の左腕
- (b) 鼓の名手である市之亟の、鼓を打つ方の腕
- (c) 旅絵師として身を隠すために、常に懐に入れていた左腕
- (d) お留伊が市之亟の正体を見抜くきっかけとなった老人の所作

問五

傍線部③「眸のうわずった顔」とあるが、この描写からうかがえるお宇多の様子として最も適切なものを、次から一つ選べ。
解答番号は(17)。

- (a) 自分の演奏に自信を持てず、気おくれしてしまっている様子
- (b) お留伊の演奏に感動し、気持ちを抑えきれなくなっている様子
- (c) 演奏中に体調を崩し、倒れそうになっている様子
- (d) 勝ちたい気持ちが極限まで高まり、表情にまで表れている様子

問六

傍線部④「打ち違えたのです」とあるが、お留伊は何を間違えたと思っているのか。最も適切なものを一つ選べ。解答番号は(18)。

- (a) 勝つために音を強く打ちすぎてしまったこと。
- (b) 鼓の技術的な打ち方に失敗してしまったこと。
- (c) 実際には何も間違えておらず、師匠をからかうために嘘をついた。
- (d) 音楽を競う手段として使ってしまったこと。

問七

鼓くらべ本番におけるお留伊の鼓の音色が、これまでの演奏と比べてどうであったかを表す一文を、二三文字で本文中から抜き出せ。句読点は一文字として数える。解答番号は(19)。

問八

お留伊は、鼓くらべの最中に演奏をやめた。なぜ彼女は途中で演奏をやめたのか、その理由を本文の内容に即して、八〇字以内で説明せよ。解答番号は(20)。